

平成 26 年度 環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野

第 3 回技術実証検討会 [議事要旨]

日時	平成 26 年 11 月 13 日(木) 14:00~16:00
場所	青山生涯学習館 学習室 3
出席者	<p>検討員</p> <p>岡城 孝雄 (公財)日本環境整備教育センター 企画情報グループグループリーダー 河村 清史 元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授 木村 茂雄 神奈川工科大学機械工学科 教授 桜井 敏郎 (公社)神奈川県生活水保全協会 理事 穂苅 康治 槍ヶ岳観光(株) 代表取締役</p> <p>環境省</p> <p>栗林 重和 自然環境局 自然環境整備担当参事官室 施設専門官 津田 京子 自然環境局 国立公園課 公園事業専門官</p> <p>実証運営機関 (株式会社エックス都市研究所)</p> <p>乾 哲也 サステナビリティ・デザイン事業本部 新事業創出チーム</p> <p>試料採取・分析機関</p> <p>岡崎 貴之 (一財)日本環境衛生センター 東日本支局 環境工学部 環境施設課 係長</p> <p>事務局 (特定非営利活動法人 山の ECHO)</p> <p>上 幸雄、 加藤 篤、 平澤恵介</p>
欠席者	荒井 洋幸 山梨県観光部観光資源課 課長
申請者	塩田 祐司 株式会社ビオ・ミクト 代表取締役
議事	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告</p> <p>現地調査報告</p> <p>3. 議事</p> <p>①実証試験の進捗状況 (利用者数、試料分析等) の確認 <非公開> ②自然地域トイレし尿処理技術セミナーの検討 ③実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討 ④広報・PR 方法の検討</p>
配布資料	<p>資料 1 第 2 回技術実証検討会 議事要旨 (案) <非公開> 資料 2 現地調査報告 <非公開> 資料 3 実証試験の進捗状況 <非公開> 資料 4 第 5 回 自然地域トイレし尿処理技術セミナー実施概要 (案) 資料 5 実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討 (案) 資料 6 実証試験の実施状況</p>
公開/非公開	議事①は非公開で行われた

[議事要旨]

○報告（現地調査）

- 陸前高田市に設置してある装置のデータを補完データとして取り扱うかどうかを検討する。
- 今後実証装置の状況変化があった際には、利用状況を控えておく必要がある
⇒館山市役所が持っている実証試験中のトイレ清掃業務委託作業報告書を送付してもらい、その内容を確認することとなった。

○議事

①実証試験の進捗状況（利用者数、試料分析等）の確認 <非公開>

②自然地域トイレし尿処理技術セミナーの検討

- セミナーを（公財）日本環境整備教育センターで開催することとし、日程は他の検討員の都合を確認してから最終確定する。
- セミナー当日の午前に、報告書検討小委員会を開催することとする。
- 実証事例の報告は、実証申請した企業が行うべきである。
- セミナーには、地方環境事務所の方々にもぜひ参加して頂きたい。
- 環境省の補助事業の説明については、パネルトークの中で行うのではなく、別途発表枠を設けるべきである。
- 技術相談会の内容も報告書に反映するようにする。
- セミナープログラムについては、以上の検討内容を踏まえてメール等で最終確認し、12月中に案内を送送する。

③実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討

- 実証運営機関として、本検討内容をまとめるだけでなく、「自然地域トイレし尿処理技術分野での検討内容」として実証運営機関の報告書に反映してほしい。（実証機関）
→親委員会での会議時にその内容を反映させて欲しい（実証運営機関）
- 以前に実証機関経由で実施したフォローアップアンケートの結果を報告してほしい。（実証機関）
→実証運営機関から後日報告する（実証運営機関）

④広報・PR方法の検討

- 事務局からの提案を紹介したが、議論の時間を十分に設ける必要があるため、本議題は次回も行うことになった。

以上